

1 問題の所在——新しい社会的妥協としてのフレキシキュリティ論争

2 欧州委員会「フレキシキュリティ共通原則」の提案(2007年 6月 27日)

フレキシキュリティ基本原理：柔軟性と保障は対立的ではなく互いに支持的でありうる

(1) フレキシキュリティの 4 要素 Commission of the European Communities(2007)

- ・ 現代的労働法による柔軟で信頼できる契約取り決め contractual arrangements
- ・ 労働者の適応性と雇用可能性を高める包括的生涯学習戦略
- ・ 失業期間を短くし新しい職への移動を容易にする積極的労働市場政策
- ・ 所得支援、雇用促進、労働市場の可動性を連携させる現代的社会保障制度

(2) フレキシキュリティの 8 つの共通原則

- 1 「雇用と成長のための戦略」と欧州社会モデルを強化するための、4 つの構成要素
- 2 雇用主、労働者にとって権利と義務のバランスを意味する
- 3 加盟国の労働市場、労使関係の状況に合わせて適用される
- 4 労働市場におけるインサイダーとアウトサイダーの分裂を縮小させる
- 5 内的フレキシキュリティ（企業内）と外的フレキシキュリティ（企業間）の促進
- 6 ジェンダー平等、雇用の機会均等、ワーク&ライフ・バランスを促進する
- 7 政労使のあいだの信頼と対話を必要とする
- 8 財政的に持続可能な予算政策に貢献し、コストとベネフィットを公平に分配する

(3) 「フレキシキュリティ共通原則」の討論と合意のプロセス

2006年3月の欧州理事会の提唱→2007年6月27日の欧州委員会の共通原則提案
→2007年12月5日開催予定の雇用・社会政策理事会で共通原則の承認→加盟
国の労働市場改革の進展

(3) 専門家グループ報告「フレキシキュリティの道筋」の強調点

European Expert Group on Flexicurity(2007)Wilthagen(チルブルク大学)他 4 名

①フレキシキュリティの構成要素：4 要素＋社会的パートナー間の対話・信頼

②フレキシキュリティの 4 つのアプローチ（道筋）の提案

デンマーク・モデルが唯一のフレキシキュリティ戦略ではない

各国の労使関係や労働市場レジームに応じて多様な道筋がある

第 1 アプローチ：雇用契約の分断に取り組む

労働市場のインサイダーとアウトサイダーへの分断に直面する諸国：イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、（フランス）

厳格に保護された期間の定めのない雇用契約と労働市場柔軟化の要請で急増した非正規雇用（派遣労働、有期契約、オンコール契約）との分断

保障を社会給付よりも同職雇用に依存する諸国：低水準の失業手当と社会扶助

- 打開策：非正規雇用を労働法、社会保障、生涯学習に統合することで分断の是正
- 第2アプローチ：企業内フレキシキュリティを發展させ、職の移動保障を提供する
 高い水準の現在雇用を保障する大企業によって支配される、労働市場があまり動的ではない諸国：ドイツ、オーストリア、ベルギー、(フランス)
 現行の積極的労働市場政策のプログラムは効果的ではない（→長期失業者）
 打開策：内的フレキシキュリティを強化し、労働者の雇用可能性と技能を高めること
- 第3アプローチ：労働力人口のあいだの技能格差と機会格差に取り組む
 労働市場の柔軟化で雇用率は高いが、低技能労働者が多く貧困率の高い諸国：イギリス、アイルランド、オランダ
 労働市場の分断化と一部の集団（女性、移民、高齢者）の労働市場からの排除
 打開策：知識基盤型経済への早い移行と技能への投資による、技能格差の解消
- 第4アプローチ：失業手当受給者とインフォーマル雇用労働者の機会を改善する
 大きな経済改革を実施した中東欧の新規加盟諸国
 失業した労働者：新しい雇用への移動よりも、労働市場から退出し手当を受給
 多数の人々のインフォーマル経済への依存
 打開策：有効な労働市場政策による雇用機会の拡大と長期的福祉依存の防止

3 欧州フレキシキュリティ戦略と社会的パートナーの見方

フレキシキュリティの共通原則についての議論への社会的パートナーの参加
 議論の争点：どの要素がフレキシキュリティ戦略にとって重要なのか
 欧州経営者連盟はEU提案に前向きだが、欧州労働連盟は懐疑的である

① 欧州経営者連盟（UNICE→Business Europe）

- ・各国の労働市場改革の共通原則としてのフレキシキュリティという提案を支持
- ・フレキシキュリティ概念のもっとも重要な要素としての3つの柱
 柔軟な労働法：解雇規制の賢明なルールと多様な雇用契約を含む「労働法の現代化」
 雇用可能性を高める積極的労働市場政策と生涯学習の実施
 失業者の権利と義務を結びつける失業保険〔ワークファースト・モデル〕

② 欧州労働連盟（ETUC）<http://www.etuc.org/a/3765>

- ・欧州委員会の中心的発想：企業に解雇の自由を与えること、企業の柔軟性を拡大するためにフレキシキュリティという用語を使用、フレキシキュリティ戦略の背後にある実際の意図＝同職保護 job protection の解消
- ・フレキシキュリティ概念のもっとも重要な要素
 同職保護＋より質の高い職への移動の促進措置
 不安定雇用（非正規雇用）の防止と雇用機会の保障
 機能的柔軟性（生涯学習、技能教育）とワークライフ・バランスを保障する制度
 外的柔軟性は社会的対話の伝統のある北欧の小国では有効だが、その他の諸国では別

の柔軟性（内的柔軟性）を選ぶべきである
社会対話と社会的パートナーの役割の重要性

② 欧州中小企業連盟 UEAPME

中小企業にとってのフレキシキュリティ：企業単位よりも地域レベルで対応する問題

- ・ フレキシキュリティ概念のもっとも重要な要素
インフォーマル労働の統合、同職保護から雇用保障へ、期限の定めのない契約の緩和

③ Social Platform(NGO) フレキシキュリティ 10 原則を提案

- ・ あらゆる妥協を取り入れた欧州委員会案は、フレキシキュリティの構成について不明確
- ・ フレキシキュリティの道筋の提案のなかに社会的NGOへの言及がないのは問題
- ・ 社会的パートナー、公的機関、市民社会が参加する包括的アプローチの必要性
「フレキシキュリティは民主的に交渉されるシステムである」 Social Platform(2006)

4 デンマークのフレキシキュリティ・モデル

1) 一般的特徴

- ・ 高い雇用率（EU第1位）、低い失業率（2.6% 2006年）
- ・ デンマーク・モデルは柔軟な労働市場と高水準の社会保障の組合せとして近年注目されているが（OECD2004）、それは一連の社会的パートナー間の交渉と妥協、漸次的な積極的労働市場政策の発展をふくむところの、長期の歴史的過程の結果である。
- ・ デンマークの労使関係システムの全体的特長：交渉と妥協によるコンセンサス
- ・ 高い水準の社会保障（税負担）は柔軟な労働市場の重要な前提条件である

2) デンマークのフレキシキュリティの4つの要素

①低い水準の雇用保護

1899年のゼネストの結果としての労使合意（いわゆる9月合意）の現在までの継続
経営者の採用・解雇の権利と賃金・労働条件の正当な交渉相手としての労働組合の承認
短い解雇予告期間（3ヶ月、最大で6ヶ月）

②積極的労働市場政策：雇用保障としての積極的労働市場政策と教育政策

1993年の労働市場改革：政労使委員会における妥協

失業者の職探しの動機づけ、新しい職に就労できない失業者の資格の向上

③生涯学習

社会的パートナー：教育政策、継続的職業訓練（CVT）の立案・実施に制度的に参加
デンマークのCVTの特徴：失業者のみならず雇用されている者も対象

1980年代末の労使協定：年に2週間の技能研修期間の付与

教育訓練コストの企業にとっての外部性、企業特殊的技能よりも移転可能な一般的技能

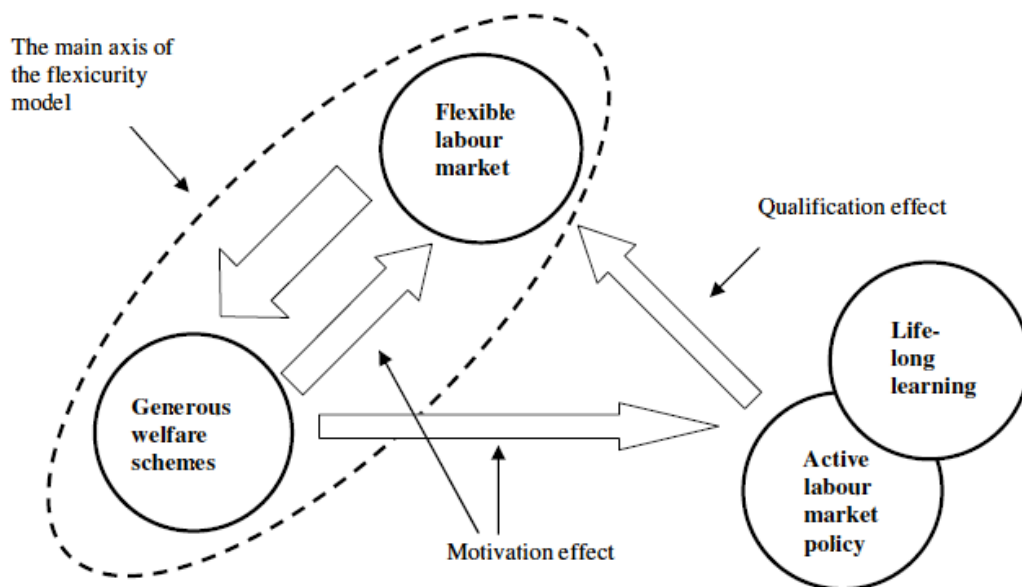
④社会保障

失業時の所得保障：1969年の失業給付制度の改革

公的失業給付制度（高失業時における失業給付の超過コスト：国家によるファイナン

スの責任) と高いレベルの職の柔軟性とのトレードオフ

Figure 1: The Danish flexicurity model (Madsen, 2006)



出所：Madsen(2006)Contribution to EEO Autumn Review 2006 ‘Flexicurity’

3) 失業保険、雇用保護、積極的労働市場政策のあいだのバランス：デンマークのフレキシキュリティの特徴

- ・ 高い水準の外的数量的柔軟性の柔軟な労働市場：労働者の高い水準の移動
- ・ 低い水準の雇用保護→労働力の経済条件の変化への適応→高い数量的柔軟性
- ・ 失業者への手厚い経済支援
- ・ 失業から新しい職への復帰が困難な失業者の技能向上をめざす積極的労働市場政策

*労働者はリスクテイクに積極的であり高い雇用保障を感じている

4) デンマーク・モデルが直面する課題

拡大 EU の人の自由移動のなかで、存続できるか→移民問題

アクティベーションからワークファーストへの徴候

所得保障への圧力（低所得労働者の失業給付：所得の 90%）

T.Bredgard, F.Larsen and P.K.Madsen(2005).

5 フレキシキュリティの概念、前提条件、新しい研究方向

1) フレキシキュリティの概念

- ・ 労働市場の柔軟性と労働者（とくに非正規労働者）の雇用保障との労使妥協（トレードオフ）にもとづくオランダの労働法改正（1999 年「柔軟性と保障」法）から生まれた政策概念、従来分離されていた労働市場の柔軟化政策と社会保障を結びつける概念

(Wilthagen,T(1998))

① 政策戦略としてのフレキシキュリティ：オランダの経験

「一方では、労働市場、労働組織、労働関係における柔軟性を、他方では、とくに労働市場の内と外のより弱い集団にたいする保障——雇用保障と社会保障——を共時的かつ意図的に高めるようとする政策戦略」 Wilthagen and Tros(2004)p.169

② 労働市場の一定の状態、すなわち保障および柔軟性の典型的形態としてのフレキシキュリティ：デンマークの経験

「フレキシキュリティは、(1) 相対的に弱い立場にある労働者の労働市場における安定を促進し、持続的で質の高い労働市場参入と社会的包摂を可能にする現職保障、雇用保障、所得保障、組合せ保障の程度であり、同時にまた(2) 変化する条件への労働市場(および個別企業)のタイムリーで適切な適応を可能にすることで、競争力と生産性を高める(外的および内的な)数量的柔軟性、機能的柔軟性、賃金柔軟性の程度である。」

Wilthagen and Tros(2004)p.170

③ 分析枠組みとしてのフレキシキュリティ：柔軟性と保障の国民的組合せの比較分析
オランダ・チルブルク大学の Wilthagen(1998,2003,2004),デンマーク・アールボルク大学の Madsen(2002,2006)によって展開されたアプローチ

複数の政策領域の統合を含む、複雑で多次元的概念としてのフレキシキュリティ

EUおよび加盟国におけるフレキシキュリティの多様な形態

2) フレキシキュリティのマトリックス

- ・さまざまなフレキシキュリティ政策または各国の労働市場レジームにおける柔軟性と保障の関係を特徴づけるのに利用できる発見的方法—>フレキシキュリティの国民的構図
- ・マトリックスの限界：トーレード・オフとしての種々の柔軟性と保障の並置。さまざまな水準およびタイプのフレキシキュリティのあいだの動態的連関を解明できない

表1 柔軟性 vs 保障のトレードオフ (バランス、ネクサス)

柔軟性 / 保障 Flexibility/security	同職保障 Job security	雇用保障 Employment security	所得保障 Income security	組合せ保障 Combination security
外的数量的柔軟性 External-numerical		オランダ デンマーク	デンマーク *中東欧諸国	
内的数量的柔軟性 Internal-numerical	ドイツ ベルギー	オランダ		
機能的柔軟性 Functional	*ドイツ		*ドイツ	*デンマーク
可変的賃金 Variable pay				

出所：Wilthagen and Tros(2004) *は Wilthagen and Velzen(2004)による追加

表2 フレキシキュリティの諸形態（柔軟性形態と保障形態の組合せ）

	同職保障 Job security	雇用保障 Employment security	所得保障 Income security	組合せ保障 Combination security
数量的柔軟性 Numerical flexibility（雇用・解雇）		デンマーク イギリス オランダ	デンマーク	
労働時間柔軟性 Working time flexibility				
機能的柔軟性 Functional flexibility（仕事間）	ドイツ フランス			
賃金柔軟性 Wage flexibility				

出所：Madsen(2006)

柔軟性と保障の形態の多様性

External-numerical flexibility 雇用・解雇の柔軟性

Internal-numerical flexibility 労働時間柔軟性：残業時間、パートタイム、変形労働時間等々

Functional flexibility：多様な雇用可能性、柔軟な労働組織

Variable pay、Wage flexibility 賃金柔軟性：成果にもとづく賃金支払い

Job security 同じ職にとどまることの保障：特定の雇用主の特定の職の保障

Employment security 雇用にとどまること（雇用可能性）の保障：積極的労働市場政策

Income security 失業期間中の所得保障：公的所得移転制度

Combination security ワークライフバランス（仕事と生活の調和）：育児休暇など

3) フレキシキュリティ政策の前提条件、効果、成功の研究

オランダとデンマークの経験によれば、労使の相互信頼やコーディネーション、協議、交渉の伝統とプラットフォームを欠く諸国、部門、企業は、高い水準の柔軟性と保障の均衡・妥協（トレードオフ）を生み出すのに不利である。フレキシキュリティ政策の前提条件の多角的な研究とより広い制度的文脈におけるその効果の研究の重要性。

①分権化されコーディネートされた労働市場政策と社会的パートナーの参画

④ 柔軟なマルチレベル・ガバナンス：種々の水準間の協議、交渉、フィードバック

⑤ 団体交渉の範囲の拡大→柔軟性と保障とのトレードオフ選択肢の拡大→高水準

の交渉にもとづく柔軟性と相互信頼の形成—>ポジティブ・サム・ゲーム

Wilthagen and Tros(2003) ; Wilthagen and Tros(2004)

4) フレキシキュリティ研究の新方向の提案

動態的関連を無視した描写的分類や類型化を超える研究方向

- ① 特定のフレキシキュリティ政策（妥協）はフレキシキュリティの国民的構図に埋め込まれている。レベル（ナショナル、産業、部門、企業）と調整・規制形態（法、国家介入、労使協定、企業レベルの交渉、個人契約、等々）との関係についての比較研究
- ② フレキシキュリティの社会的、経済的、政治的、文化的前提の重要性：柔軟性と保障が相互に支え合うフレキシキュリティ政策の発生基盤としての交渉、妥協、信頼と社会対話の文化。フレキシキュリティの歴史的制度的前提条件の研究。
- ③ 良好なフレキシキュリティ政策の背後にある関係と動態の解明：フレキシキュリティの類型論を超える新しいステップ＝特定の形態の柔軟性と保障のあいだの具体的なトレードオフを超える積極的な波及効果としてのフレキシキュリティ戦略の理論的研究種々の形態の柔軟性と保障のあいだの動態的關係に関するより深い経験的研究：保障が労働市場の柔軟性に積極的に影響しているか？デンマークの高い水準の所得保障と雇用保障は労働者のより積極的なリスクテイクと労働市場のより高い流動性につながっているか？これらについての経験的研究の蓄積はまだ少ないのが現状。

Bredgaard T,Larsen F & Madsen P. K(2006)

参考文献

- Barbier J.-C.(2005)Apprendre du Denemark? Reflexions sur le miracle danois,Esprit,juillet.
- Bevort A.et al.eds.(2006)Flexicurite, la protection de l'emploi en debat, La Documentation Francaise.
- Boyer R.(2006)La flexicurite danoise,CEPREMAP
- Bredgaard T,Larsen F & Madsen P. K (2005)The flexible Danish labour market:a review,CARMA Research papers 2005-01.
- Bredgaard T,Larsen F & Madsen P. K(2006)The challenges of identifying flexicurity in action,Workshop "flexicurity and beyond",October 2006,Aalborg University,Denmark.
- Bredgaard,T. and Larsen F.(2007)*Comparing Flexicurity in Denmark and Japan* ", Flexicurity paper 2007-13,Aalborg University, Denmark.
- Commission of the European Communities(2005)Integrated Guideline for Growth and Jobs(205-2008),COM(2005)141final.
- Commission(2006)Green paper"Modernising labour law to meet the challenges of the 21st century,22 November 2006.
- Commission (2007) Towards Common Principles of Flexicurity: More and better jobs through flexibility and security,COM(2007)359final.

- European Expert Group on Flexicurity(2007) Flexicurity Pathways
- ETUC(2007)The Flexicurity Debate and the Challenges for the Trade Union Movement, April 19 2007.
- Duclos L. et Kerbouch J.-Y.(2006)Organisation du marché du travail et flexicirite a la française, Document de travail, nov.2006.
- Larsen F., Madsen P.K. and Bredgaard T.(2005) "*The flexible Danish labourmarket*", Flexicurity paper 2005-12, Aalborg University, Denmark.
- Leschke, J., G. Schmid, and D. Gria(2006) On the Marriage of flexibility and Security: Lessons from the Hartz-reforms in Germany, WZB, SP12006-108.
- Lundvall B.-A.(2002) Innovation, Growth and Social Cohesion: The Danish Model, Edward Elgar.
- Madsen P. K. (2002) "The Danish Model of Flexicurity", Hedva Sarfati & Giuliano Bonoli ed., Labour Market and Some Protection Reforms in International Perspective, Ashgate.
- Madsen P. K. (2006) Denmark: Contribution to EEO Autumn Review 2006 'Flexicurity'
- Madsen, P.K.(2006) Flexicurity: a new perspective on labour markets and welfare states in Europe, background paper for presentation at the DG EMPL Seminar on flexicurity in Brussels on May 18, 2006.
- Madsen P. K. (2006) How can it possibly fly? The paradox of a dynamic labour market in a Scandinavian welfare state, J.L. Campbell et al. ed., National Identity and a Variety of Capitalism: The case of Denmark, Macmillan University Press.
- Schmid G & Gazier B (eds.) (2002) The Dynamics of full employment: social integration through transitional labour markets, Edward Elgar.
- Social Platform(2006) Ten principles for flexicurity.
<http://www.socialplatform.org/News.asp>
- Tangian A.(2006) Monitoring flexicurity policies in Europe from three different viewpoints, WSI-Diskussionspapier Nr.145.
- Wilthagen, T.(1998) Flexicurity: a new paradigm for labour market policy reform?, Berlin: WZB Discussion Paper; FXPaper 2003-1, Tilburg University.
 Flexicurity Research Programme : <http://www.tilburguniversity.nl/faculties/law/>
- Wilthagen, T. & F. Tros(2003) Towards "flexicurity"? : balancing flexibility and security in EU member states, Flexicurity research paper FXP 2003-3, Tilburg University.
- Wilthagen, T & F. Tros(2004) "The concept of flexicurity: A new approach to regulating employment and labour markets", Transfer—European Review of Labour and Research, 10(2).
- Wilthagen, T & van Velzen(2004) The road towards adaptability, flexibility and security,

Discussion paper.'